

Ⅱ 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会 (部会長・事務局 小山市) 令和2年度 活動計画(案)

- (1)【新規】野鳥の生息環境の保全(2-3)
昭和46年に国内野生コウノトリの絶滅後東日本初となる野外繁殖によるヒナが誕生し全国から注目が集まっていることから、コウノトリに関する情報提供や観察マナー等の周知を図る。
- (2)【新規】ゴミ対策(2-5)
渡良瀬遊水地の貴重な自然環境を保全するため、ヨシ焼き前クリーン作戦の実施について検討する。
- (3)【新規】遊水地のガイドブック等(3-2)
ラムサール条約湿地登録10周年に向けたパンフレットの作成について、既存パンフレットの整理や記載すべき内容についての協議・検討を行う。
- (4)【新規】情報提供の場(ビジターセンター)(3-3)
渡良瀬遊水地関連施設を巡る「スタンプラリー」を実施し、4市2町に点在する関連施設間の連携を図る。
- (5)【継続】普及啓発のための人材育成(3-4)
令和2年1月より実施中の「わたらせシールラリー2020」について、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりこれまで中止のイベントが多かったことから、期間を1年間延長して実施する。

「2. 遊水地環境保全・再生」及び「3. 人々の交流・教育・普及啓発」合同部会② 全体タイムスケジュール(案)

項目	H28~R1年度	R2年度(登録8周年)							R3年度(登録9周年)							R4年度(登録10周年)以降	摘要			
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			11月	12月	1月
2. 湿地環境の保全・再生																				
1. 外来種対策																				一部実施中、住民への呼びかけ
2. 希少動植物保全																				一部実施中、拡大には保全区域の設定
3. 野鳥の生育環境の保全	パンフレット印刷・配布	コウノトリに関する情報提供・観察マナーの周知 ●誕生から巣立ちまでの経過報告(協議会資料で送付) ●情報提供・観察マナーの周知(特別住民票交付、記念切手の発行など、随時)							愛称募集 決定 住民票交付 4市2町合同で実施?							情報提供・観察マナーの周知(継続)	現状の把握と、対策について			
4. イノシシ等の対応																				看板設置、その他対策
5. ゴミ対策	クリーン作戦実施中(毎年4月)	ゴミ対策(ヨシ焼き前クリーン作戦)の検討 ●現状の確認(ゴミの不法投棄件数等) ●実施方法の検討(日時、役割分担など)							ゴミ対策(ヨシ焼き前クリーン作戦)の実施(継続) ●実施結果の報告 ●継続実施について照会(実施方法、反省点含め)							実施 ●3月	状況を見ながら対策検討			
6. 治水(河道整備、避難所、掘削等)																				湿地再生事業、治水関連の情報収集
3. 人々の交流・教育・普及啓発																				
1. 利活用の情報の一元化																				渡良瀬情報ネットワーク
2. 遊水地のガイドブック等(英語版含む)	対応マニュアル 施設案内看板 注意喚起看板	登録10周年に向けた記念パンフレットの検討 ●既存パンフの情報収集 ●調査結果共有、たたき台作成 ●アンケート調査(載せたい(伝えたい)情報など) ●記事(原稿)、写真提供依頼							パンフレットの作成 ●たたき台への意見照会 → 校正(数回)							完成 ●R4.7発行	英語版パンフレット等について(オリンピックまでに)			
3. 情報提供の場(ビジターセンター)		スタンプラリーの検討 ●実施可能な施設の選定 (案)4市2町、利根上、アクリメから各1施設 ●スタンプ、台紙のデザイン作成 ●参加賞、記念品等の検討							渡良瀬遊水地エコロジカル・ネットワーク推進協議会との連携を検討 ●プレスリリース ●イベント終了後もスタンプは各施設へのスタンプ、台紙の配布、HP掲載 ●スタンプラリーの実施 ●施設に常設								体験学習ハウス等、資料収集			
4. 普及啓発のための人材育成	シールラリー実施中 環境学習フィールド3 パンフレットの作成	シールラリーの実施(1年間期間延長) ●実施期間の延長決定 HP更新、チラシ修正、プレスリリース、構成員への周知・シール残確認							(期間)R2.1.1(水)~R2.12.31(木) → R3.12.31(金) (応募締切)R3.3.1(月) → R4.2.28(月) (贈呈式)R3.7(第9回協議会) → R4.7(第10回協議会or記念事業)							応募締切 ●記念カード印刷	ボランティアガイドの養成 湿地の保全する人の育成等			
5. 教育・普及啓発のための教材作り																				治水・利水・歴史・環境

新たな計画に基づき、取組内容・スケジュールを検討